

この洪水氾濫地図について

この地図は、余笹川、長尾川や河川が大川によって増水し、堤防から水があるれたり、堤防が壊れたときの浸水予想地図や避難場所を示した地図です。
大川の規模は、平成10年8月末に発生した洪水と同じ規模の大川を想定しています。

大川による被害の恐れがある時は、すみやかに避難してください。また町や市から避難勧告や避難指示が出された場合には必ず避難してください。

地図に示した地区以外の所も、状況によっては浸水したり危険な所もありますので注意してください。

高齢者がいる地区や避難所が遠い地区では、自動車による避難ルートも検討しておきましょう。

町民を各自の命にとがため、早めの避難を心がけることが大切です。

平成13年8月 新撰町、長瀬市

余笹川流域洪水避難地図 洪水ハザードマップ(その2)

避難場所一覧

指定避難場所

番号	名称	所在地	電話番号
①	大島小学校	新撰町大字大島1-1	0397-75-2140
②	徳田小学校	新撰町大字徳田1-1-2	0397-75-2441

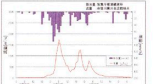
一時避難場所

- | 番号 | 場所 |
|----|--------------|
| ① | 避難所施設 |
| ② | 大島コミュニティセンター |
| ③ | 小島の民館 |

平成10年(西暦1998年)8月末の洪水について

平成10年8月28日~31日にかけて、上空に発生した前線に、日本の東海上をよする台風から強い気圧が押し寄せたことで、前線の活動が活発になり、県道では前線雨量が年々の降水量の約2倍を超える豪雨が降りました。

氾濫地区では27日午前2時に時間雨量30mmの猛烈な雨を記録。25日の降り始めから31日にかけての総雨量は、1,254mmを記録しました。
当時の河川の決下能力を大きく越えた洪水は、氾濫全域を記録として流れ、地形勾配が約1/60~1/200と急であるために速い流れとなり下流しました。これにより氾濫が急激に広がって、早急な決壊の被害が発生しました。さらに上流から氾濫水が押し寄せ水位が急激に上昇したこともあり、速い流速とあわせて避難が困難で、人的被害につながってしまいました。



この地図の記号

- | | |
|-------------------|-----------|
| 洪水が約1.5倍の氾濫 | 指定避難場所 |
| 洪水が約1.5~2.0倍の氾濫 | 一時避難場所 |
| 洪水が約2.0~3.0倍の氾濫 | 防災拠点 |
| 洪水が約3.0~4.0倍の氾濫 | 河川橋、防災避難所 |
| 洪水が約4.0以上倍の氾濫 | 病院 |
| 平成10年8月末洪水で浸水した区域 | 避難所 |
| 河川 | 交通 |
| 道路 | 水位観測所 |
| 国道 | 橋 |
| 県道 | 橋 |
| 市道 | 洪水ハザード情報 |

避難が難しい余笹川流域の洪水



遠くへ、ゆっくりとした流れでは、浸水しても避難できますが、

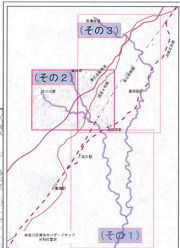
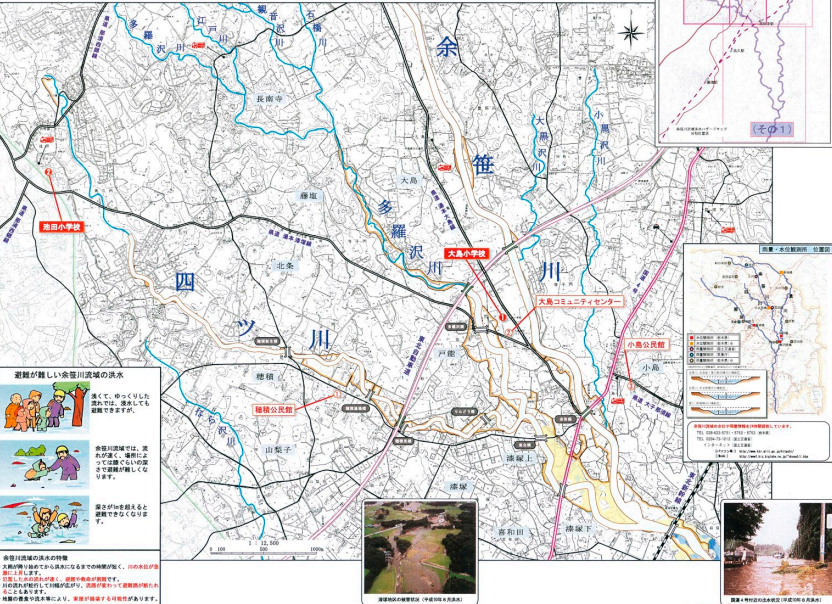


余笹川流域では、流れが速く、堤防が壊れ、避難によっては速くも浸水の被害が発生します。さらに上流から氾濫水が押し寄せ水位が急激に上昇したこともあり、速い流速とあわせて避難が困難で、人的被害につながってしまいました。



浸水が急激に広がるため、避難が難しくなります。

余笹川流域の洪水の特徴
大川が押し寄せたためから氾濫になるまでの時間が短く、川の水位が急激に上昇します。
川が急激に流れて、避難が困難です。
河川の堤防が壊れて氾濫が広がる。堤防が壊れて氾濫が広がることもあります。
氾濫の被害が長期間にわたって、避難が困難になる可能性があります。



観音川の氾濫状況(平成10年8月末)



観音の特設避難所(平成10年8月末)